開講大学:京都光華女子大学　科目名:産官学連携プロジェクトC

連携先世界遺産：真言宗御室派総本山仁和寺

仁和寺の伝統と魅力

仁和寺の多彩な取り組みにスポットを当て、世界遺産としての魅力を掘り下げる。それを通じて、持続可能な世界遺産という課題に向き合う。

■受講生

鎌苅 剛次（立命館大学・経済学部・3年生）、栗山 公成（立命館大学・経済学部・3年生）、齊藤 香花（京都光華女子大学・健康科学部・2年生）、笹岡 葉奈子（京都光華女子大学・健康科学部・1年生）、末吉 杏未（京都光華女子大学・キャリア形成学部・1年生）、祐野 真衣（京都光華女子大学・健康科学部・2年生）、 鈴木 萌恵（京都光華女子大学・健康科学部・2年生）、須藤 碧（京都光華女子大学・健康科学部・2年生）長谷川 桜子（京都光華女子大学・キャリア形成学部・1年生）、三上 明日香（大谷大学・文学部・2年生）、宮本 一輝（京都産業大学・経営学部・4年生）

■担当教員　朝比奈英夫（京都光華女子大学・キャリ形成学部・教授）

活動目的･概要

真言宗御室派総本山仁和寺は、多数の国宝、重要文化財のほか、登録有形文化財、国名勝･史跡など、バラエティに富んだ文化財を有する。その歴史と伝統に加えて、常に新しい魅力を発信し続けている仁和寺の取り組みを、現地取材を通して明らかにすることが、本クラスの目的である。特に近年は、少人数で催行されるサービスの届いた散策ツアーや、1泊100万円の宿泊で話題を集めた「松林庵」文化体験プログラム、紅葉のライトアップなど、進取の気性にあふれた企画を数多く発表し続けている。文化財のあり方を「保存」から観光に資する「活用」に舵を切り、様々な取り組みを行う仁和寺にスポットを当て、寺院の方々インタビューを行い、現場レベルでの手応えを確認した。その結果を、受講生の年代の目線で受け止めて、仁和寺の新たな魅力の発見に努めたのが、本クラスの活動の成果である。

プレ授業 御室桜と五重塔

チーム編成（仁和寺）

チーム活動（キャンパスプラザ）

◆主な活動（授業や自主活動も含め、自由に記載してください。必要に応じてフォントサイズ等も調整してください。）

2021.4.17　プレ授業　午後1時から4時

2021.5.15　インタビュートレーニング

2021.6.26　境内の取材と宗務総長の講演、チーム編成と各チームのテーマ検討　午前･午後

2021.9.25～11.26　この間に仁和寺への取材及び成果報告作成準備（自主活動）

2021.10.17　プレゼンテーショントレーニング

2021.11.27　成果発表準備　午後1から5時

2021.12.12　成果発表

活動の成果

仁和寺の魅力が最大限に伝わるイラストマップを作ろう（鎌苅　祐野　須藤　笹岡）

私たちのグループは、仁和寺の魅力が最大限に伝わるイラストマップを作成しました。また、その中で建物の魅力を伝えるため、お寺関係者の方のランキングと独自のランキングを作成しました。グループのメンバーで実際に仁和寺へ行き、お寺関係者の方々へのインタビューや、今までに作成されていたマップを頼りに仁和寺をめぐり、自分たちなりに魅力を伝えられるような写真の撮影を行いました。また、仁和寺の魅力を伝えるためのランキングを作成するため、お寺関係者の方のランキングもインタビューしました。そこでいただいた意見を参考にしつつ、自分たちでも独自のランキングを作成しました。

仁和寺を若者が来てもらえるようにPRする（栗山　鈴木　齋藤）

私達のチームは、仁和寺を若者が来てもらえるようにPRして、若者の来場者数を増やすという目的を立てて、半年間活動してきました。なぜ、このテーマを掲げて活動してきたかというと、現在の文化財についての認識が変化したことを知ったためです。文化財についての認識が変わり、文化財を活用して収益を出して、保存に利用していくという動きに変わりました。しかし、新型コロナウイルスの蔓延と若者のお寺離れによって、収益を得るのが難しくなっています。そこで、私達は自分たちの若者目線での戦略を考えようと思いました。

具体的には、何度かチームのメンバーで仁和寺を訪れ、実際の文化財を見たり、実際の参拝者の状況などを調査しました。調査の結果と私達若者の間での行動傾向を結びつけ、3つの戦略を立てました。1つ目は、SNS上に広告を流す、2つ目は、御堂ムスメを活用する、3つ目は、交通の便を良くするです。

仁和寺の経営について（宮本　三上　末吉　長谷川）

我々は、仁和寺の魅力について深く調べるのに加えて、仁和寺のプライベートツアーの良さを最大化する方法を模索しました。

まず、仁和寺のプライベートツアーについて調べるにあたり、ネットで検索をしたり、実際に仁和寺に行って僧侶の方に話を聞いたりしました。そして仁和寺は、景色だけを楽しむのではなく、知識を取り入れることによって、仁和寺の良さがより一層伝わることを理解しました。

さらに、我々が調べたプライベートツアーには、大きな価値があることがわかりました。仁和寺のプライベートツアーは決して安価とは言えず、初めて見たときは「これほどの金額を払って仁和寺を見に来る人がいるのだろうか」と不安になっていましたが、われわれの想像をはるかに超える数の人がそのツアーに応募していたのです。

そして我々は、仁和寺のそのプライベートツアーの良さを知り、より多くの人に体験してもらいたいと感じたため、プライベートツアーを広める為の方法を探し出しました。それを発表では加えています。

活動を振り返って

●仁和寺の魅力が最大限に伝わるイラストマップを作ろう
他大学の人とのグループ活動がメインだったため、全員で集まって作業することが大変でした。普段は、同じ大学のよく顔を合わせる人と作業をするため、話し合いの時間など確保しやすいですが、この授業では、住んでいる場所も大学も違う人と集まって作業するため、スケジュールや場所の調整が大変でした。
また、今までは寺社のことを観光客として関心がありましたが、この授業を通して寺社の経営についての興味も湧きました。この授業で仁和寺の方からの特別講義を受けるまでは、寺社での参観料などの収益が何に利用されているのか知りませんでしたが、文化財の保存と活用に利用されていると知り、私たちが払ったお金が文化財の保存に繋がっていると思うと、観光客として払う参観料が安く感じる様になりました。

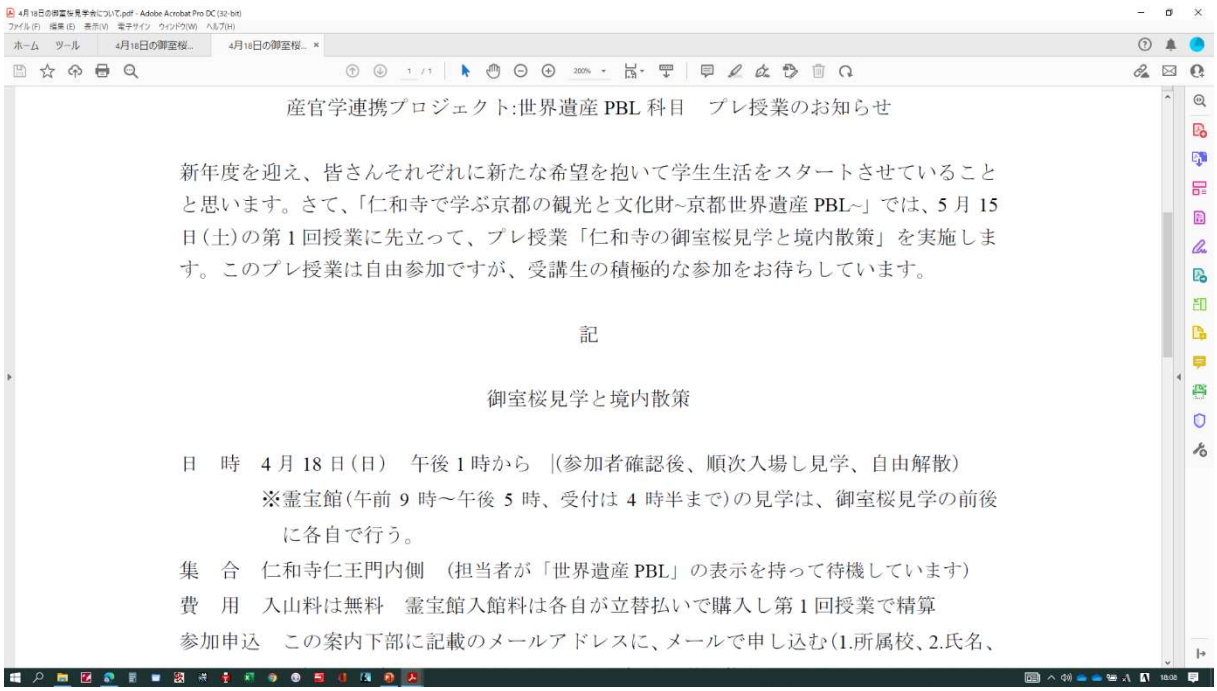
●仁和寺を若者が来てもらえるようにPRする
SNS上に広告を流す、御堂ムスメを活用する、交通の便を良くするという3つの戦略を作る活動を通して、経営の難しさを肌で感じることが出来ました。戦略を立てる上で、ターゲットや現状の把握、そのうち手は本当に効果的かを徹底的に考える作業は本当に大変でした。しかし、これらの活動は社会に出てからもっと求められることだと思います。そのため、この半期にわたる活動で得た経験と身についた力をこれから更に磨いていき、社会に出た時に活躍できるようにします。

●仁和寺の経営について
最後に振り返りですが、仁和寺の外観は確かに美しくてとても魅力的なのですが、仁和寺についての知識を取り入れることで、その景色はより一層深みを帯び、美しさが倍増することを我々のチームは知りました。そしてその価値は、一般に高値とされるような値段を支払ってまで拝見してもよいものだとも理解しました。この仁和寺の美しさを、プライベートツアーの素晴らしさを、われわれのチームで少しでも伝えることができれば幸いだと、チーム一丸で感じております。

担当教員からのコメント

朝比奈 英夫
今年度の授業では、4月に御室桜見学会をプレ授業として企画しました。今年は桜の開花が早く、桜の花を楽しむことはできませんでしたが、仁和寺様のご厚意で、境内の各所、宝物館の入場を許可していただきました。5月には仁和寺学芸員の朝川先生のご講義、6月には宗務総長の吉田様の特別講義をいただき、理解を深めました。その経験が、12月の成果報告に生かされていると思います。
今年度もコロナ禍の影響で、当初計画していたスケジュール通りの授業が実施できず、受講生はもどかしい思いをしたことと思います。不安定なスケジュールにもかかわらず、誠実に対応してくれた受講生の努力に敬意を表します。皆さんが、この授業での成果をこれからの活躍に生かしてくれることを切に願います。

活動資料



産官学連携プロジェクト:世界遺産 PBL 科目　プレ授業のお知らせ

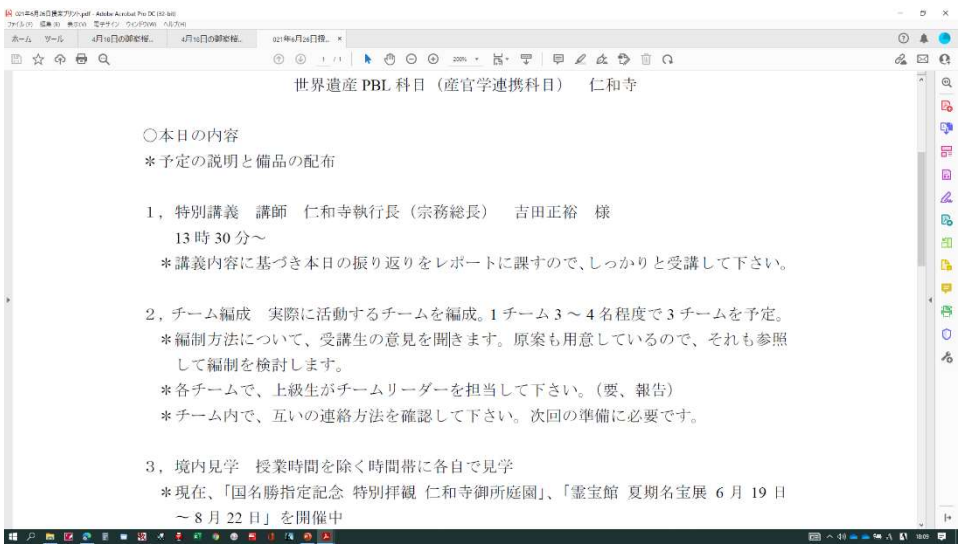
新年度を迎え、皆さんそれぞれに新たな希望を抱いて学生生活をスタートさせていることと思います。さて、「仁和寺で学ぶ京都の観光と文化財~京都世界遺産 PBL~」では、5 月 15 日(土)の第 1 回授業に先立って、プレ授業「仁和寺の御室桜見学と境内散策」を実施します。このプレ授業は自由参加ですが、受講生の積極的な参加をお待ちしています。

記

御室桜見学と境内散策

日　時　4 月 18 日(日)　午後 1 時から　|(参加者確認後、順次入場し見学、自由解散)
※霊宝館(午前 9 時～午後 5 時、受付は 4 時半まで)の見学は、御室桜見学の前後に各自で行う。
集　合　仁和寺仁王門内側　(担当者が「世界遺産 PBL」の表示を持って待機しています)
費　用　入山料は無料　霊宝館入館料は各自が立替払いで購入し第 1 回授業で精算
参加申込　この案内下部に記載のメールアドレスに、メールで申し込む(1.所属校、2.氏名、

仁和寺様のご好意で、4月にプレ授業の御室桜見学会を実施、6月に仁和寺執行長(宗務総長) 吉田正裕様の特別講義を受けることができました。



世界遺産 PBL 科目（産官学連携科目）　仁和寺

○本日の内容
＊予定の説明と備品の配布

1，特別講義　講師　仁和寺執行長（宗務総長）　吉田正裕　様
13 時 30 分～
＊講義内容に基づき本日の振り返りをレポートに課すので、しっかりと受講して下さい。

2，チーム編成　実際に活動するチームを編成。1 チーム 3 ～ 4 名程度で 3 チームを予定。
＊編制方法について、受講生の意見を聞きます。原案も用意しているので、それも参照して編制を検討します。
＊各チームで、上級生がチームリーダーを担当して下さい。(要、報告)
＊チーム内で、互いの連絡方法を確認して下さい。次回の準備に必要です。

3，境内見学　授業時間を除く時間帯に各自で見学
＊現在、「国名勝指定記念 特別拝観 仁和寺御所庭園」、「霊宝館 夏期名宝展 6 月 19 日～8 月 22 日」を開催中